

周知に向けた取り組み

拡がる！ 政策デザインの輪

県内の自治体でも、政策にデザイン思考を取り入れた動きが見られます。鯖江市と越前市の共催でデザイン経営や広義のデザインを学ぶ「越前鯖江デザイン経営スクール」もその一例で、今年7月にはシンポジウムイベントが開催されました。2つの自治体がデザインを軸にタッグを組むという画期的なプログラムです。



県内デザイン業界の 会合で人材発掘



福井のデザイナーやクリエイターが集まる会合が5月に開催され、今後のデザイン業界のあり方、デザイン人材の育成等、ざっくばらんに意見交換が行われました。県職員も参加し、政策デザインについてPR！
政策×デザインという視点で協働できるクリエイターの発掘にも力を入れています。

各種メディアも注目！ 政策デザインの成果

昨年度までに政策デザインの議論を経て生まれたプロジェクトや広報が、各新聞紙面で取り上げられています。ワークショップを通じて、本質や目的などを徹底的に議論したからこそ生まれたコンセプトは第三者の共感につながっています。

読売新聞 30面
[R5.5.11掲載]→



福井新聞 3面
[R5.5.19掲載]↓



もう見ましたか？ 政策デザイン普及啓発動画



全庁をあげての政策デザイン推進に向け、職員(特に管理職)向けの普及啓発動画を制作(R4年度)。入門篇では政策デザインの定義・概念を簡潔に紹介、実績篇では障がい者の幸せ就労を目指す「フクシヨン！」の事例をクリエイターが分かりやすく解説しています。ぜひご覧いただき、課題解決にお役立てください。

ふくい政策デザインnavi
発行元：福井県未来創造部未来戦略課
0776(20)0759
発行月：2023年9月

ふくい政策デザイン navi

「行政マンが抱える悩みをデザイン思考で解決に導く」。

そんな「政策デザイン」という手法が、庁内のさまざまな部署で成果を上げています。
「ふくい政策デザインnavi」ではその活用事例や最新のトピックス、導入の効果や活動の広がりなどをお伝えしていきます。



デザイン思考を用いて 県民目線で考える 政策デザインの手法とは

政策デザインとは、デザイン思考を取り入れ、県民目線の政策立案を目指す仕組みです。物事の本質を見極め、自由な発想で解決のアイデアを考える「政策検討ワークショップ」、潜在的ターゲットへのヒアリングなどを通して真の課題や解決すべきことは何かを考える「課題リサーチ」といった手法があり、案件に適した手法を用いて各分野で開催しています。また、重要度の高いテーマについて知事とクリエイターが直接意見交換する「政策検討ミーティング」も実施しています。今年度は4～7月にかけて約10件の検討会を実施。引き続き、相談を受け付けています。



政策検討ワークショップの様子



課題リサーチの様子



政策検討ミーティングの様子

テーマ：公共交通における人材確保
対象：公共交通機関（バス・タクシー）の運転士に興味のある人
担当：交通まちづくり課

“課題リサーチ”で 公共交通の人材確保を 新たな視点で考える

「公共交通の人材確保」に向けた新たな政策を検討するため、「課題リサーチ」を実施しました。福井県バス協会や福井県タクシー協会の関係者から現状や課題をクリエイターとともにヒアリング。人手不足の実態把握だけでなく、「運転手の働き方や乗客との触れ合いの過程にヒントがないか」など新しい視点で意見交換しました。ヒアリングした内容は、今年度6月補正予算編成に反映した他、公共交通機関の大切さを考えてもらうため、電車やバスをテーマとした“幸福”エピソードの募集”といった展開にもつながりました。



京福バス本社にて課題リサーチの様子



日刊県民福井 2面
[R5.4.14掲載]



福井新聞 2面
←[R5.4.14掲載]

アウト プット 事例

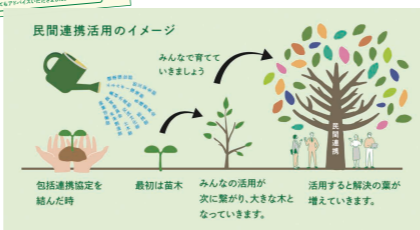
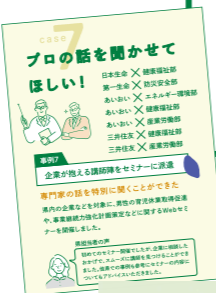
政策デザインから
生まれた事例を
ご紹介します。

テーマ：「民間連携」の仕組みの浸透
対象：主に県職員
担当：未来戦略課

課題解決の

新アイテム！ 『トリセツ・民間連携』

民間企業との包括連携協定の取組みのポイントをまとめたパンフレット『トリセツ・民間連携』を制作しました。「協定は結んで終わりではなくここからがスタート!」。具体的な事例や当事者(県・企業)の声を拾うなど、活用する職員側の目線に立ってどういった効果があるのかを分かりやすく伝えることを意識した内容となっています。民間企業等の知見やノウハウの活用は、県政の諸課題の解決につながるヒントにもなります。課題解決の新アイテムとして、活用しない手はないですね!



テーマ：一乗谷朝倉氏遺跡のフィールドミュージアム化
対象：新博物館開館後の潜在的顧客層
担当課：文化課、一乗谷朝倉氏遺跡博物館

動き出す！ 一乗谷朝倉氏遺跡 フィールド ミュージアム化

昨年度の「政策検討ミーティング」では、杉本知事とクリエイターが意見交換を行い、多彩な切り口からアイデアが出されました。そこで議論された内容をもとに、ビジュアル資料を作成。ターゲットや空間演出などを青写真として描くことでコンセンサスを獲得、今年度6月補正予算に盛り込まれました。事業化され、一乗谷朝倉氏遺跡のフィールドミュージアム化が動き出す。今後の動きにもご注目ください。

